

デジタル技術を活用した課題解決ワークショップ

【ため池等の管理、野生鳥獣の生息調査のデジタル化】

福岡県では、ロボットやIoT、AIなど、様々なデジタル技術を活用して、地域課題を解決するプロジェクトを創出するため、現場のニーズと県内企業が有する技術シーズとのマッチングを図るワークショップを開催します。

今回は、農林水産部および環境部と連携して、「ため池等の管理、野生鳥獣の生息調査のデジタル化」をテーマに、プロジェクト化の検討を行いますので、参加される企業を募集します。

<プロジェクト化を検討するニーズ>

テーマ	ニーズ概要
① クリークの正確な水位データの即時把握【農山漁村振興課(計画調整係)】	<p>流域治水の一環として、クリークの先行排水に取り組んでいるところ。クリークの正確な水位データをリアルタイムで把握し、関係者で即時共有することにより、効率的な水門操作につなげたい。</p> <p>また、リアルタイムで把握した水位データと実際の雨量データや浸水被害状況との相関を比較・分析することにより、防災・減災対策を検討する上での有用な資料づくりにつなげたい。</p>
② ため池の堤体変状及び漏水把握【農村森林整備課(農村整備係)】	<p>ため池の管理者や所有者は、災害を未然に防止するため、ため池の管理・保全を適正に行う必要があるが、ため池管理者の高齢化や減少により、管理や保全が困難となってきた。</p> <p>このため、衛星などから、ため池堤体の変状や漏水を把握することにより、管理者が現地に出向かなくても、ため池の状態を把握することで、管理者の負担軽減に繋げたい。</p>
③ 野生鳥獣の精度の高い生息状況調査及び効率的な捕獲の実現【環境部自然環境課(野生生物係)、農山漁村振興課(鳥獣対策係)】	<p>ニホンジカやイノシシ等の野生鳥獣による生態系毀損や農林業被害が絶えない中、野生鳥獣の適正な保護・管理を推進するためには精度の高い生息状況調査や、調査結果を踏まえた効率的な捕獲が不可欠であるが、地域の高齢化が進行しており、より省力的・効率的な調査・捕獲の仕組みづくりが必要である。</p> <p>よって、ドローン・センサーカメラ等の ICT 機器や AI を活用した画像解析を組み合わせることにより、人の立ち入りが困難な地域での精度の高い生息状況調査や、錯誤捕獲防止を視野に入れた効率的な捕獲を実現したい。</p>

● 日 時:令和5年2月10日(金) 14:00~17:20

● 会 場:博多サンヒルズホテル 瑞雲の間 A (福岡市博多区吉塚本町 13 番 55 号)

● 内 容

時 間	内 容
14:00~14:30	各担当課からニーズの紹介
14:30~15:30	質疑応答・フリーディスカッション(終了後、個別相談会場へ移動)
15:40~17:20	個別相談会(同ホテル別会場に個別ブース設置)

● 参加費:無料

● 参加要件:福岡県半導体・デジタル産業振興会議または福岡県 Ruby・コンテンツビジネス振興会議の会員であり、県内に研究、生産・活動拠点を有する企業(法人格保有)

● 定 員:15社・30名(先着順に受付、定員に達し次第、受付を終了します)

● 申込締切:令和5年2月3日(金) 17時まで

- 申込方法:[リンク先](#)のフォームからイベント名「農林水産ワークショップ」を選択し、必要事項を記入の上、お申込み下さい(イベント番号の入力は不要です)。
- ※ 本事業はビジネスマッチングを目的としています。ワークショップ当日に自社のパンフレット等を持参頂くなど、積極的な営業活動を奨励します。また議論の活性化、今後の商談の参考のため、参加者情報(会社・団体名、所属・役職、氏名)は各参加者に提供いたします。